

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ローリエ		
○保護者評価実施期間	令和8年2月28日		～ 令和8年3月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	令和8年2月28日		～ 令和8年3月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月31日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・中高生の支援に経験が豊富な職員体制でサービスの提供ができること。	・進路(進学や就職)に関する相談や必要な情報収集など、児童や保護者と一緒に取り組んでいる。これまでの事業所卒業生の進路やその後の様子など、個人情報を守りながらも参考になる情報を提供しながら、具体的なイメージが持てるような支援を心がけている。	・本人だけでなく保護者向けの情報提供の機会をより多く確保して、家族全体として不安が解消され、見通しを持った生活が送れるように支援を充実させていく。
2	・18歳後の成人期を見据えた活動メニューが年間通じて用意されていること。	・事業所内の調理スペースを活用した料理体験で自炊のイメージを膨らませていく活動や、身なりを清潔に整えるための勉強会、女子向けの化粧等の美容に関する勉強会などを実施している。また、法人内の別事業所との合同事業では、年下児童をまとめたり、先導したりする役割を担うなどしている。	・ローリエを卒業した先輩たちを迎えての交流会を開催したり、保護者会等の場で、卒業した児童から、その後の成人期の生活などの話しを聞く機会を確保する。
3	・地域の中学校や高校(通信制高校を含む)との協力体制が構築出来ていること。	・社会性獲得に向けて、市社会福祉協議会が運営する「プチバイト」での就労体験や、一般企業によるアルバイトへの協力など、通学する学校・家庭・放デイの三者が連携しながら支援している。また、進路選択に関する本人の夢や希望が実現可能となる様に学校と連動した支援体制を敷いている。	・定期的な情報共有の場として、支援会議の開催を学校だけでなく、放課後デイの事業所で開催するなどの新たな取組について検討を進めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・室外での活動に関して、体を十分に動かせる広い公園などが近くにないこと。	・事業所の立地が中心市街地であることと、少し離れた場所にある公園等に出掛ける際に、室内で支援する職員との支援体制にかかるバランスが確保しにくいことが考えられる。	・法人内の他事業と合同で屋外活動を実施するなど、支援する職員数の協力体制についての具体的な検討を進める。屋外活動の計画的な実施を法人全体でも調整していく。
2	・学習や気分を落ち着かせるための個室の数が少ない。	・放課後等デイサービス事業所は学習塾ではない為、専門の個室を確保する事は難しいが、中高生が通所している為、学習環境の確保もある程度は考えていかなくてはならないところ。	・居室空間を大きく3か所に仕切れることから、更にそこから簡易パーテーション等の設置をするなどのその時々状況に合わせた環境設定と配慮が出来るように検討を進める。
3			